

平成24年度 事業計画書

自 平成24年4月1日
至 平成25年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号
(一財) 日本モーターサイクリススポーツ協会 (MFJ)

I. 事業方針

本会は、わが国におけるモーターサイクルスポーツを統轄し代表する団体として、モーターサイクルスポーツの普及振興を図り、もって国民の心身の健全な発達に寄与する目的を達成するため、本年度は以下の基本方針に基づき事業を推進する。

平成 24 年度は幣協会にとって大きな変更が実施される年度となる。法人の形態は 4 月 1 日より一般財団法人として登記。また、ライセンス取得をWEB上で行えるシステムが 2 月から稼働。情報発信は速報性を重視し、電子媒体を中心に行うことから機関誌を休刊。

■重点項目は下記とする。

- ・ 主要競技会の活性化
- ・ モーターサイクルスポーツを支える層の拡大（年少者／女性／愛好者）
- ・ アジア地域との連携
- ・ 社会的認知の向上（メディア露出の拡大）
- ・ 安全／環境対策

■会員数等目標

- ・ ライセンス会員：15,500 名（前年比 94%）
- ・ エンジョイ会員：3,000 名（前年比 95%）
- ・ 競技会数： 500 大会（前年比 99%）

II. 事業内容

1. 競技会

1) 競技会主催事業

主催競技会（施設との共同主催含む）を 14 大会開催する。

2) 競技会公認・承認事業

規定に基づき全国の競技会・講習会を公認または承認する。（約 500 大会予定）

3) 主要競技会日程

- ・ 主要競技会の公平を維持する為、必要に応じて審査委員長等を派遣する。

(1) ロードレース

①世界選手権／国際競技会／特別競技会 全大会MF J 共催／文部科学省後援／観光庁後援

開催日	格式	大会名	会場
7月26日～29日	世界耐久選手権	ココロ鈴鹿8時間耐久レース	鈴鹿サーキット
8月25日～26日	国別対抗戦	アジア国別対抗ロードレース日本大会	スポーツランドSUGO
9月8日～9日	国際選手権	FIMアジア選手権ロードレース日本大会	オートポリス
10月12日～14日	世界選手権	MotoGP日本グランプリ	ツインリンクもてぎ

② 全日本選手権（全9戦）

全大会MFJと共催／文部科学省後援／観光庁後援

日程		会場	開催クラス				併催【アジア】		
			JSB	GP2	ST600	GP3	SS600	UB115	ワンメーク
4月1日	第1戦	ツインリンクもてぎ	○	○	○	○			
4月15日	第2戦	鈴鹿2&4	○						
5月13日	第3戦	筑波	○	○	○	○			
5月27日	第4戦	AP 2&4			●				
8月4日	第5戦	もてぎ2&4		○		○			
8月26日	第6戦	SUGO	○	○	○	○			●Y-R15
9月9日	第7戦	オートポリス	○	○		○	●	●	●H-CBR
10月7日	第8戦	岡山国際	○	○	○	○			
10月28日	第9戦	鈴鹿 MFJ-GP	●	○	○	○			

※●は2レース。

(2) モトクロス

①全日本選手権は全9戦開催。

	日程	会場		日程	会場
第1戦 九州	4月8日	HSR九州	第6戦 東北	7月1日	藤沢スポーツランド
第2戦 関東	4月22日	オフロードビレッジ	第7戦 近畿	9月9日	名阪スポーツランド
第3戦 中国	5月13日	グリーンパーク弘楽園	第8戦 中国	10月7日	グリーンパーク弘楽園
第4戦 SUGO	5月27日	スポーツランド SUGO	第9戦 MFJGP	10月21日	スポーツランド SUGO
第5戦 北海道	6月17日	北海道オフロードパーク			

※ 最終戦MFJ-GPはMFJ共催／文科省後援／観光庁後援

②モトクロス全国大会（文科省後援・観光庁後援）

ジュニア・国内A/B級の全国選抜大会を東北地区（SUGO）にて8月5日に開催。

(3) トライアル

① 世界選手権トライアル

6月2日/3日 世界選手権日本グランプリ MFJ共催・文科省後援・観光庁後援

② 全日本選手権

	日程	会場		日程	会場
第1戦 関東	3月11日	真壁トライアルランド	第5戦 中国	9月9日	フィールド幸楽
第2戦 近畿	4月22日	名阪スポーツランド	第6戦 中部	10月14日	キョウセイトライアルランド
第3戦 九州	5月13日	佐賀大和	第7戦 東北	10月28日	スポーツランド SUGO
第4戦 北海道	7月15日	わっさむサーキット			

③トライアルグランチャンピオン大会

国内A級以下の全国大会を11月11日 静岡県・朝霧ふもとつばら特設会場にて開催

(4) その他の競技

① スノーモビル全日本選手権 (全6戦)

※開催は2012年1月～3月

	日程	会場		日程	会場
第1戦	1月29日	新潟(苗場)	第4戦	2月19日	北海道(士別)
第2戦	2月5日	長野(斑尾)	第5戦	2月26日	青森(黒石)
第3戦	2月12日	北海道(美瑛)	第6戦	3月4日	北海道(美瑛)

② スーパーモタード (moto1 オールスターズ全8戦)

	日程	会場		日程	会場
第1戦	4月15日	美浜(愛知)	第5戦	7月29日	TS幼夕(広島)
第2戦	4月29日	琵琶湖 SP(滋賀)	第6戦	8月19日	SUGO(宮城)
第3戦	6月3日	伊那(長野)	第7戦	9月16日	HSR九州
第4戦	6月24日	エビス(福島)	第8戦	11月4日	もてぎ(栃木)

③ エンデューロ全日本選手権

	日程	会場
第1戦 東北	3月17～18日	SUGO2DAYS
第2戦 東北	5月4日	定義(大倉牧場跡地)
第3戦 北海道	9月22～23日	日高2DAYS
第4戦 九州	11月24～25日	山都2DAYS

(5) 全日本選手権ランキング表彰式

全日本選手権各種目のランキング上位3名を表彰する式典を下記にて開催する。

開催日：平成24年12月15日(土) 場所：東京・大手町・日経ホール

(6) 競技用車両・部品・用品の公認事業

競技会の公平性・安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした競技車両・部品・用品を公認する。

(7) 競技施設の公認事業

競技に使用する施設の安全性を維持する為、規定に基づき所定の要件を満たした施設を公認する。

(8) サービス事業 (競技運営用備品・用品の販売等)

- ・主催者に対し競技運営に必要な備品・用品・テキスト等を製作し販売を行う
- ・公認用品製作/販売会社に製品に貼付する公認を証するマークを販売する。
- ・規定に基づき参加者の昇格申請手数料、希望競技番号料等を受け付ける。

(9) 会員登録

- ・個人会員の申請受付・登録・会員証発送作業を行う (WEB申請・郵送申請)
- ・特別会員・賛助会員・プレス会員の申請受付・登録作業を行う。

Ⅲ. 普及事業

1. 年少者／女性／

- 1) MF Jロードレースアカデミー in MOTEGI ※スポーツ振興基金助成金事業
主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会
会場：栃木県・ツインリンクもてぎ。 期間：2012年4月～10月
年間7回(9日間)に変更し、年間参加(18歳以下)とネット参加(年齢問わず、
車両持込)とし、年少者だけでなく初心者を受け入れ、底辺の拡大を計る。
※岡山国際で開催する「MF JアカデミーWEST」に車両貸与等協力
- 2) MF Jトライアルアカデミー
主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会
会場：茨城県・真壁トライアルランド 期間：2012年9月～13年3月 募集定員：20名
年少者(9歳～18歳)女性(年齢問わず)成人男性(年齢問わず)
- 3) レディースロードレース。

①女性ロードレースを年間3回・講習会3回(模擬レース含む)を開催する。

2012年度開催スケジュール・会場:筑波サーキット			
	第1回	第2回	第3回
講習会・走行会	3月9日(金)	6月20日(水)	9月28日(金)
レース開催日	3月17日(土)	6月30日(土)	10月6日(土)

※JKA補助金事業

②スポーツランドSUGOにて開催される下記2大会に告知等協力する。

日程：5月6日(日)・8月12日(日)

4) ミニバイク大会

ミニバイク／ポケバイとの連携を目的にイベント開催予定

- ① 8月5日全日本ロードレースもてぎ2&4時に北ショートコースで開催
② 12月に筑波サーキット(コース1000)で開催予定。

Ⅳ. 広報対策

会員、メディア・販売店・一般への情報提供を内容に応じて下記媒体を活用し効率的に発信する。

- 1) 情報発信の速報性を高める為、機関誌ライディングは休刊し、機関誌で伝えていた情報はホームページに集約し、構成を一新する。加えて会員へのメール配信で必要な情報をダイレクトに送信する。

- 2) 国内競技規則書の発行（年間1回）※JKA補助金事業
- 3) 後半戦の主要競技会の見どころを中心とするフリーペーパーを作成
- 4) プロモーション事業
 - ①全日本ロードレース/モトクロス全戦の放映（BS放送で無料で視聴可能）
 - ②全日本ロードレースのインターネット動画ライブ配信
 - ②専用ホームページ「superbike.jp」による情報発信
 - ③メディア向けのシリーズ概要資料作成・配布
 - ④東京モーターサイクルショー等への出展・広報
 - ⑤若手育成のユースカップ奨励賞設定
 - ⑥ファンクラブ（スーパーバイクフォース）の運営

V. 安全・環境対策

- 1) 規定に基づき所定の基準を満たした競技施設の公認（必要に応じて査察）
- 2) 規定に基づき所定の基準を満たした装備品の公認
- 3) 装備の基準策定と推奨（本年より脊椎パッド義務付け・胸部保護パッド推奨等）
- 4) 環境整備委員会にて事故再発防止を主眼とする事故調査
- 5) モータースポーツライセーシング機構（LSO）に加盟。
- 6) ロードレースにおけるサーキットアドバイザー制度の補助。（随時）
- 7) 観客安全対策の強化。（ネット・コーステフ・立ち入り禁止表示等支援）
- 8) インストラクター養成事業の継続ならびに、競技役員セミナー等で人材育成を行う。
- 9) ドーピングコントロールの実施
全日本ロードレース・モトクロス・トライアルで年間各1回検査を実施する。
※スポーツ振興基金助成事業

VI. 地方組織について

- 1) 各地域における全日本モトクロス・トライアル選手権の開催、地域スポーツ行政の実施について全国8加盟団体に業務を委託する、
- 2) 地域二輪車協会の協力を得て全日本選手権等主要イベントの集客向上を目指す。
- 3) 全日本モトクロスの持続可能な運営形態を協議する。
- 4) MFJネットワークショップ加入促進活動を行う。
- 5) 加盟団体会長・事務局長会議を定期的で開催する。

VII. 国際対策

- 1) 国際モーターサイクリズム連盟（以下FIMという）、FIMアジア協会への加盟、連絡、調整

- 2) FIM総会・FIMアジア総会へ委員及び事務局員の派遣。
- 3) FIM規則の翻訳
- 4) FIMライセンスの発行
- 5) FIM世界選手権の運営に求められる主要競技役員の資格認定の為、FIM競技役員セミナーを開催、または派遣。
- 6) 代表選手派遣
 - ・アジア国別対抗ロードレース等に日本代表チームを派遣する。〈日程未定〉
 - ・国別対抗世界選手権の代表チームの選抜と認定
- 6) 国内で開催される世界選手権・国際選手権等に関する連絡・調整・運営
- 7) アジア国別対抗ロードレースの開催

開催日：2012年8月25日（土）～26日（日）

主催：(財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場：宮城県・スポーツランドSUGO

対象：FIMアジア所属国協会代表選手

車両：ヤマハYZF R15ワンメーカーレース

VIII. 補助金事業

1. (財) JKAオートレース		
1) 国内競技規則書（平成25年版）	交付申請額	5,460,000円
	交付内定額	3,530,000円
2) MFJレディースロードレース	交付申請額	1,997,000円
	交付内定額	1,594,000円
2. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」		
1) 平成24年度ドーピングコントロール	交付申請額：	3,094,763円
	交付内定額：	2,785,000円
2) 平成24年度MFJロードレースアカデミー	交付申請額：	806,000円
	交付内定額：	806,000円

IX. 公益法人制度改革への対応

- 1) 一般財団法人認可後に定められた届出、報告事項等の実務作業を行う。

X. その他の事業

- 1) 諸会議の開催

MFJのスポーツ事業を円滑に推進するために必要に応じて諸会議を開催する。

 - ・理事会評議員会（6月／12月／3月）・加盟団体会長／事務局長会議・中央スポー

ツ委員会・技術委員会・専門委員会・部会

2) スポーツ安全保険

- ・会員のスポーツ安全保険加入管理業務を行う。
- ・受傷時の確認作業・保険会社への連絡等業務を行う。
- ・スポーツ傷害基金の残務処理を行う(支払い期限終了まで)

以上